

令和7年
2025年

12月19日
金曜日

第11858号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



銀閣寺大西らがワールドステーキチャレンジ金賞受賞を報告……P4

- ▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー、ニチレイフレッシュ 森山洋行執行役員畜産戦略部長 P2~3
- ▶ [牛・豚肉の輸入数量予測] 1月の牛肉は6%増、豚肉18・1%減か……P3
- ▶ [鶏肉輸入予測数量] 1月は計4万7870 tで8・5%減……P3
- ▶ 銀閣寺大西、熟豊ファーム、萩牧場が会見、ワールドステーキチャレンジで金賞受賞……P4
- ▶ 家畜改良センターの的場理子技術専門役が「農業技術功労者表彰」受賞……P5
- ▶ スペイン産豚肉の代替に、放牧豚「THE HOUBOQ」提案—アニマルウェルフェア社・P5
- ▶ [関東の輸入豚肉現物相場] スペイン産輸入停止の影響広がる……P6
- ▶ [関東の国産豚肉現物相場] 引き続きバラ、カタロース堅調……P6
- ▶ 乳用牛への黒毛和種交配状況、第3四半期全国で6・7ポイント増……P6
- ▶ 香港向け家禽由来製品の輸出再開—農水省 P6
- ▶ 【ブロイラー市中現物相場】ブラジル産、タイ産とも高止まり……P7
- ▶ アトムが新業態「焼肉出汁しゃぶ 鎌倉かぶと」……P7
- ▶ 「とんかつ食堂 かつ福」京都木津川市にランドオープン……P7
- ▶ [資料] 乳用牛への黒毛和種の交配状況……P8
- ▶ [資料] 日本食肉流通センター週間市況〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 18日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 18日……P11

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
ニチレイフレッシュ 森山洋行執行役員
畜産戦略部長

…詳細はP2~3

[牛・豚肉の輸入数量予測] 1月の牛肉
は6%増、豚肉18・1%減か

農畜産業振興機構は18日、11月~2026年1月の牛肉と豚肉の輸入数量を予測、公表した。

…詳細はP3

りんご和牛
信州牛
登録商標 第1394040号

信州プレミアム牛肉
登録商標 第5282895号 第5282894号

信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売

健康と食生活を演出する
ビセラル株式会社

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12
営業一課 / ☎(03) 3919-2929 FAX(03) 3919-2930
総務 / ☎(03) 3919-2980 FAX(03) 3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

大手豚肉サプライヤーインタビュー ニチレイフレッシュ 森山洋行執行役員畜産戦略部長

—2024年度実績をおきかせください。

国産豚肉が数量ベースで前期比80%、金額ベースで85%となりました。輸入が数量ベースで55%、金額ベースで65%となりました。

当社では、数年前から畜産全体でコモディティからの脱却を進めており、健康価値を訴求する畜産品を「健康価値食肉」とし、その柱である「亜麻仁の恵み」シリーズの販売を拡大しております。われわれが持つ健康価値食肉への思いを体現できる商品の提案・訴求をより進めていき、おいしさはもちろん、生活者の皆さんの健康や持続可能な社会実現に貢献したいと考えており、こうしたわれわれの思いを、流通を通じてお伝えできればと思っています。

こうしたことから全体の取扱数量は減少しているものの、自社商品の新規取引は着実に増加しております。

—健康価値食肉について教えてください。

豚肉ブランドとしては「亜麻仁の恵み」シリーズの「亜麻仁の恵み豚」「亜麻仁の恵み黒豚」のほか、一昨年から「健康価値食肉」の新たな国産豚肉「ごまんてん」の販売を開始しております。

「亜麻仁の恵み」シリーズは、亜麻仁由来の成分を飼料に配合することで健康に寄与するとされるオメガ3系脂肪酸が多く含まれており、牛・豚・鶏肉の3畜種で展開しているため、各畜種でのご提案が可能です。

「ごまんてん」はごまを配合した弊社独自設計の飼料を給餌して育てた豚肉で、豚肉からセサミンが摂取できる商品です。ごまを与えることで脂の口溶けが良く、濃厚なコク、うまみがあり、獣臭が少ない、おいしい豚肉に仕上がります。特にごまの効果に着目いただいているお客さまにご提案しています。

—昨今、原料事情が変化していると思います。国産・輸入それぞれの原料事情の変化や懸念についてご意見をおきかせください。

国産は、量販店向け商品が多くを占めております。そうした中で、国産豚肉相場が急騰し、過去最高水準の価格で推移しておりました。価格転嫁も進めていますが、その分、価格が高くなると販売への影響が生

じます。このため一定程度は転嫁できているものの全てを転嫁できてはいません。

輸入は飲食店向け、食肉加工メーカー向けの販売が中心ですが、こうした飲食店向けは、節約志向を受けて苦戦がみられました。食肉加工メーカー向けについては好調に推移しました。

当社ではメキシコ産にこだわって取り組んでいますが、世界的にも相場が上がっています。世界的に病気が流行しており、生体頭数が減ってきました。メキシコは国内の需要も増えていることから、4月から高値となっており、仕入れが難しくなっています。

—今期の計画と進捗を教えてください。

国産は、引き続き健康価値食肉の取り組みを拡大していきます。われわれの取り組みに共感いただける産地とのコラボレーションを強化・拡大し、商品提案をしていきます。

「亜麻仁の恵み」飼料添加物の販売をこの4月にスタートしました。「亜麻仁の恵み」シリーズの畜産物に給餌している飼料添加物は、シリーズの取り組みで明らかのように、肉質・脂質の向上、枝肉重量の増体向上、免疫強化や、産後の回復を早めることなどに寄与することが確認されています。取り組んでいた農家からデータをさらに収集し、提案に用いていきたいと考えています。

—自社や協力会社の食肉加工センターの活用状況、活用方法について教えてください。

プロセスセンターが川越と横浜の2拠点で稼働しています。加工度の高いものやカット品、味付け商品など、加工業務の強化に努めます。特に来年4月にニチレイフーズと統合します。その加工業務の内製化を図っていく考えです。

—海外輸出について教えてください。

牛肉や加工品販売は進んできましたが、豚肉は現



在、輸出可能なのが北海道だけということで、北海道産豚肉を香港向けに輸出しております。生産地が限られていますが、これから取り組みを拡大していきたいと考えています。

—アニマルウエルフェアについては。

生産農家に積極的に取り組んでいただいています。事業統合を控えていることもあり、ニチレイとしての指針の策定を検討しています。

【牛・豚肉の輸入数量予測】 1月の牛肉は6%増、豚肉18・1%減か

農畜産業振興機構は18日、国内の主な輸入事業者で構成する牛肉および豚肉輸入動向検討委員会を開き、11月～2026年1月の牛肉と豚肉の輸入数量を予測、公表した。

それによると、牛肉輸入量は、11月は冷蔵品が1万2千t(前年同月比12・0%減)、冷凍品が2万7200t(30・0%増)で、合計3万9200t(13・4%増)になると予測。12月は冷蔵品が1万3700t(14・3%減)、冷凍品が2万7400t(18・0%増)で、合計4万1100t(4・8%増)になると予測。26年1月は冷蔵品が1万2300t(7・9%減)、冷凍品が2万2200t(15・8%増)で、合計3万4500t(6・0%増)になると予測している。

3カ月を通して、冷蔵品は前年同月を大きく下回る反面、冷凍品は2ケタ増加すると見込まれることから、3カ月平均で冷蔵品は1万2700t(11・6%減)、冷凍品は2万5600t(21・2%増)となり、合計で3万

8300tと前年同期を8・0%上回ると予測している。

豚肉輸入量は、現地価格の高止まりなどから、11月は冷蔵品が3万3300t(9・4%増)、冷凍品が3万6千t(24・7%減)で、合計6万9300t(11・4%減)になると予測。12月は冷蔵品が3万3700t(2・5%減)、冷凍品が3万4千t(19・0%減)とともに下回り、合計6万7700t(11・5%減)になると予測。26年1月は冷蔵品が3万3千t(2・9%増)、冷凍品が3万2900t(32・1%減)で、合計6万5900t(18・1%減)になると予測している。

3カ月を通して、冷蔵品は12月以外は前年同月を上回る反面、冷凍品が2ケタ減少すると見込まれることから、3カ月平均では冷蔵品は3万3300t(3・1%増)、冷凍品は3万4300t(25・5%減)となり、合計で6万7600tと前年同期を13・7%下回ると予測している。

【鶏肉輸入予測数量】 1月は計4万7870tで8・5%減

日本食肉輸出入協会は18日、鶏肉輸入動向検討委員会を東京都内で開催し、11月～2026年1月の鶏肉輸入数量を予測した。それによると、11月は計4万4150t(15・0%減)で、ブラジルが2万8千t(21・7%減)、タイが1万5千t(2・5%減)、米国が1100t(46・7%増)、その他の国が50t(43・2%減)。

12月は計4万7300t(5・7%減)で、ブラジルが3万1千t(9・7%減)、タイが1万5500t(4・1%増)、米国が750t(14・7%増)、その他の国が50t(2・0%減)。1月は計4万7870t(8・5%減)で、ブラジルが3万400t(19・0%減)、タイが1万6800t(19・1%増)、米国が620t(2・5%減)、その他の国が50t(6・4%増)。

鶏肉の輸入については、ブラジル、タイおよび米国

における現地価格の高値が続いているが、鶏肉の価格優位性などを背景として、外食や中食などの堅調な国内需要に支えられ、引き続き、順調に推移している。

また、タイ・カンボジア国境紛争によるタイにおけるカンボジア人労働者不足による影響は、ミャンマーなど他国ワーカーの補充により緩和してきている状況にある。一方、ブラジルにおいてもワーカー不足が顕在化しており、日本向け掲示価格高騰の一因にもなっている模様である。

今後も、タイ・カンボジア国境紛争の状況のほか、円安などの為替動向や高病原性鳥インフルエンザの国内外での発生動向などについても注視していく必要があるとしている。

銀閣寺大西、熟豊ファーム、萩牧場が島根県で会見 ワールドステーキチャレンジで金賞とアジアチャンピオンを受賞

(株)銀閣寺大西、(株)熟豊ファーム、(株)萩牧場は17日、島根県松江市の島根県庁職員会館多目的ホールで記者会見を開き、11月に英国・ロンドンで開催された「ワールドステーキチャレンジ2025」で(株)銀閣寺大西グループの「MEAT JAPAN」がWAGYU部門で金賞とアジアチャンピオンに輝いたことを発表した。

同イベントは2015年に創設。世界最高峰の牛肉品評会と称され、各国から持ち込まれたステーキの品質を競う国際的イベント。生産者やブランド名に左右されないようブラインド審査によって行われる。1次審査では評価者が精肉(生)と調理後のステーキを国際基準に沿って外観、色、霜降り、香り、軟らかさなどを総合評価。2次審査では1次審査のスコアを集計し評価者が最終結果を決定する。

MEAT JAPANでは熟豊ファーム(サステナブル和牛 熟)と萩牧場(松永牧場グループ)の出品牛がメダル賞のGOID MEDAL(金賞)、熟豊ファームの出品牛が地域カテゴリーのBest Steak in Asia(初代アジア最優秀ステーキ)を受賞した。部位はサーロイン。サステナブル和牛 熟は2年連続のGOID MEDAL受賞および今回新設されたアジア部門の初代チャンピオンとなった。

会見には銀閣寺大西の大西英毅常務、熟豊ファームの石飛修平社長、萩牧場の松永亮太取締役(株)松永牧場取締役)が出席。冒頭、大西常務は自社の企業概要を紹介するとともに海外での取り組みを説明した。同グループは現在、国内外に15社を展開し本社である京都市を中心に食肉小売・卸事業、外食事業を展開する他、海外にはシンガポール、イタリア、スイス、米国に会社を構えており、それぞれを拠点に輸出国は38カ国。海外の一部でも小売や卸、外食事業を手掛ける他、スウェーデンの倉庫活用やイタリアの工場稼働により物流面の整備も推進している。

続いて石飛社長が「時が育て、循環が磨く」を標ぼうするサステナブル和牛 熟について説明した。「熟」は経産和牛を再肥育したブランドで、平均100カ月齢で出荷され、「生きながら熟成される」のが最



大の特長。「エコフィードの活用や耕畜連携などサステナブルな資源循環がおいしさに磨きをかけていく。また、牛のげっぶによるメタンガス削減にも寄与しており、格付も8割強がA4かA3に仕上げられる」と述べた。

また、松永取締役は自身の経歴や松永牧場グループの県外進出第1号となる萩牧場について説明。畜産経営に関わるさまざまな取り組みについて触れた他、エコフィードの活用、アニマルウェルフェア、大規模牧場ならではの生産方法等を紹介し、「飼料やストレスフリーな環境作りを工夫しながら牛舎を見直し、機械導入などを効率的に生かすことにより3人で管理できている」と披露した。

今回の受賞について大西常務は「圧倒的に味への評価が高く、特に脂質を評価していただいた。1次審査の段階で見栄えも素晴らしいと伝えられた。アジアNo.1にはなったが、世界No.1にはなっていないので、できれば来年も挑戦したい」、石飛社長は「経産牛だからおいしくないのではないかと懸念することを懸念していたので率直にうれしい。大西さんは出荷牛の情報をフィードバックしてくれるため、常により良いものを目指せる」、松永取締役は「大西さんの力になれたことがうれしい。松永牧場グループでは父の代から『サシよりも何よりもおいしさが一番』と教えられてきたので今後もおいしさを追求したい」と述べた。

家畜改良センターの的場理子技術専門役が「農業技術功労者表彰」受賞

(独)家畜改良センターは17日、東京都千代田区の法曹会館で5日に開催された「第81回農業技術功労者表彰」において、同センターの的場理子技術専門役(企画調整部管理課繁殖技術チーム=写真左)が受賞したことを発表した。

同表彰は、農業その他関連産業に関する研究開発において、農業技術の研究・普及指導や農業経営関係に関する研究・改善指導に顕著な功績が認められる者に向けて行われるもの。

このほど認められた同氏の功績は、「牛における体外受精胚生産技術の高度化及び採卵器具の改良と普及」。牛胚の生産・移植状況が直近10年間で激変し、OPU(経膈採卵)技術による体外受精胚が広く利用されている中で、今回の牛体外受精と移植技術の開発および普及への一連の取り組みが、国内の種



雄牛もよびドナー牛の計画的かつ効率的な整備にも貢献し、公的機関だけでなく広く民間にも利用されていること、国内外での肉牛と乳牛における育種改良及び増殖を促進する波及効果になっていることが評価されての受賞となった。

スペイン産豚肉の代替に、放牧豚「THE HOUBOQ」提案 —アニマルウェルフェア社

現在、スペインで発生したアフリカ豚熱(ASF)により、日本政府はスペイン産豚肉の輸入を全面停止している。これを受け、(株)アニマルウェルフェア(本社=宇都宮市、岩田憲明社長)は、イベリコ豚などの代替原料を求める飲食店・ホテル業界に向け、国内唯一の「アニマルウェルフェア獣医師認証」を取得した放牧豚「THE HOUBOQ(宮崎県椎葉村産)」のBtoB供給および無料サンプル提供(数量限定)を18日から本格開始した。

スペイン産豚肉は日本の輸入豚肉市場において重要な位置を占めており、特に生ハム(ハモンセラノ・イベリコ豚等)においては輸入量の約70%を占めている。過去の事例(イタリア)から、禁輸措置は2年~5年以上に及ぶ可能性があり、飲食業界やホテル業界では「代替品の確保」が急務となっている。「仕入れが止まった」「代わりが見つからない」という悲鳴が上がる中、同社では日本で供給可能な持続可能な代替モデルを提案する。

「THE HOUBOQ」は、日本三大秘境の一つとされる宮崎県椎葉村の標高500~700mの山間地で

生産される放牧豚。放牧場にはコナラやクヌギなどのドングリの木が自生しており、スペインの「デエサ(放牧地)」に近い環境で育つ。豊富な運動量と自然な食生活により、脂は甘くてさらっとしてくどくない、赤身のうまみが際立つ肉質が特徴だ。

岩田社長は「私は16年間、公務員獣医師としてと畜検査や衛生指導に従事してきた。その中で、過密飼育によるストレスで尾を噛み合う豚たちの姿を目の当たりにし、動物にやさしい畜産を日本の当たり前にしたいという決意で独立した。今回の輸入停止は業界にとって危機だが、同時に日本の食料安全保障とアニマルウェルフェアを見直す好機でもある。輸入品に頼らない、誇れる国産放牧豚をぜひ試してほしい」と話す。

同社はBtoB取引を検討の飲食店・ホテル・小売店向けに、無料サンプル(数量限定)を用意。

対象=飲食店、ホテル、食品バイヤー▷提供内容= THE HOUBOQ 精肉サンプル▷申込方法=特設サイトから注文(アニマルウェルフェアモール通販 <https://animalwelfare-mall.com/product/2924/>)

【関東の輸入豚肉現物相場】 スペイン産輸入停止の影響広がる

【フローズン】スペイン産の輸入停止の影響は各方面に広がり、国産・輸入を含めて代替や問い合わせが増えている。農水省では、10月29日以前に梱包された製品については輸入停止措置の対象にしないことを発表。在庫などについては一定の見通しがつくようになった。とはいえ、引き続きベリーを中心に需給は逼迫している。

【チルド】国産相場も年末に向けて上昇基調となっており、鍋物需要も強まる中で引き続きスソ物やベリーなどを中心に引き合いは強い。フローズンからの代替需要もあり、荷動きは比較的堅調に推移している。

【輸入豚肉現物相場】 (関東中間冷蔵庫渡し)

		キロ/円、税抜き		
	輸入元	部位	相場	気配
フローズン	米国産	クッションミート	730中心	→
		テンダーロイン	840中心	→
	カナダ産	ショート・ボックス	790中心	→
		ウデ	790中心	→
		モモ	790中心	→
	デンマーク産	ベリー	1,000中心	↗
		カラー	930中心	↗
		ロインMM	880中心	↗
		テンダーロイン	880中心	↗
	フランス産	シートベリー	950中心	↗
カタロース		900中心	↗	
チルド	米国産	ロイン (FLON)	780中心	→
		CCロイン	780中心	→
		テンダーロイン	1,080中心	→
		山付ベリー	1,250中心	↗
	カナダ産	ボックス	830中心	→
		テンダーロイン	1,080中心	→
		ベリー	1,210中心	↗

【関東の国産豚肉現物相場】 引き続きバラ、カタロース堅調

年末に向けた手当もピークを迎えており、今週に入って枝肉相場は上昇。全国と畜頭数は7万頭超えで推移しているものの、相場は600円台後半から700円まで上がってきた。鍋物需要に加え、輸入物のベリーなどの価格上昇もあり、バラやカタロースなどの引き合いが依然として強い。一方、スソ物の荷動きはやや鈍っている。

フローズンも同様にバラ、カタロースの引き合いは強く、特にバラは輸入物からの代替需要

が増えている。ウデやモモなどのアイテムにも引き合いがみられるほか、スペアリブなども動いている。

関東の国産豚カット肉相場

生鮮物		冷凍物	
部位	相場	部位	相場
カタロース	1,050~1,100	カタロース	980~1,030
ウデ	760~800	ウデ	760~780
ロース	1,000~1,050	ロース	970~1,000
バラ	1,150~1,230	バラ	1,030~1,070
モモ	780~800	モモ	760~790
ヒレ	980~1,030	ヒレ	930~980

乳用牛への黒毛和種交配状況、第3四半期全国で6・7ポイント増

一般社日本家畜人工授精師協会が公表した令和7年第3四半期(7~9月期)の乳用牛への黒毛和種の交配割合は、全国で46・5%(前年同期比6・7ポイント増)、北海道で35・6%(7・3ポイント増)、都府

県で61・1%(6・2ポイント増)となった。また、性選別精液の割合は、全国で22・8%(0・7ポイント減)となっている。(8面参照)

香港向け家禽由来製品の輸出再開—農水省

農水省は17日、日本の家禽由来製品の香港向け輸出について、北海道からの輸出が再開されたことを

発表した。なお、北海道からのベトナム、マカオおよび米国向けの家禽由来製品の輸出は再開済み。

【ブローラー市中現物相場】 ブラジル産、タイ産とも高止まり

◇国産物 最需要期となる年末年始に向かい、生鮮モモの動きは一層活発化。日経荷重の東京相場で780円台までジリ高に値を上げた。生鮮ムネの動きは鈍いものの、535円前後で高止まりが続く。冷凍物はおおむねもちあい。

◇輸入物 ブラジル産、タイ産、モモ正肉、カット物とも、国内在庫が減少しており、高止まりが続いている。2026年1月もブラジル産の輸入量は前年を大きく下回る見込みで相場を押し下げる要因

は少ない一方、国産冷凍物との値差も小さくなっているため先行きは不透明さが増した。

ブローラー現物相場 単位:円/キロ

国産冷凍物	
モモ正肉(産地凍結)	600~650
ムネ正肉(〃)	410~490
手羽モト(〃)	300~350
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	380~500

単位:円/キロ

輸入物	
米国産モモ正肉(240gUP)	玉なし
米国産ジャンボレッグ(350gUP)	350中心
米国産BIL	550~570
ブラジル産モモ正肉	600~620
ブラジル産モモ角切り	620~640
ブラジル産皮なしモモ正肉	500中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	430~450
ブラジル産手羽サキ(50gUP)	600中心
タイ産モモ正肉	610中心
タイ産モモ角切り(25~30g)	630中心
米国産モモ串	玉なし

アトムが新業態「焼肉出汁しゃぶ 鎌倉かぶと」

(株)アトム(神奈川県横浜市)は23日、焼き肉と出汁しゃぶが一度で楽しめる「焼肉出汁しゃぶ 鎌倉かぶと」を、神奈川県鎌倉市にオープンする。

店舗では特注の焼き鍋を使用しており、中央の鉄板で焼き肉を、周りの鍋ではこだわりのダシでしゃぶしゃぶを楽しめる新ジャンルの焼き肉店。焼き鍋は焼いた肉の脂がダシに落ちる設計になっており、肉のうまみが溶け出したダシでしゃぶしゃぶを味わえる。

メインである肉は濃厚なうまみが味わえる黒毛和牛を選定。「黒毛和牛しんたま盛り合わせ」では、脂の甘みと赤身のうまみが味わえるトモサンカク、軟らかいマルシン、かみ応えがありさっぱりとした後味のカメノコ、赤身のマルカワが1度で楽しめる。「国産牛タン匠の薄造り」や「至福の口溶け黒毛和牛サーロイン」も提供する。また、しゃぶしゃぶの肉には脂身に甘み



があり、肉質が軟らかい神奈川県産のブランド豚「相模豚」を選定した。

出店にあたって「旅行の思い出に残る業態になって欲しいとの考えから歴史的な寺社が多く、日本人のみならず訪日外国人も観光に訪れる鎌倉に決めた」としている。

「とんかつ食堂 かつ福」 京都木津川市にグランドオープン

福助グループ(兵庫県三田市、福西文彦社長)が展開する「とんかつ食堂 かつ福」はこのほど、京都府木津川市に新店舗をグランドオープンした。

トンカツをはじめとした揚げ物を、自家精米のごはんと堪能できる「地域の食堂」として展開しており、ト

ンカツの豚肉は鹿児島県産のブランド豚「茶美豚」(チャーミーとん)を使用。上質な赤身とクセのない脂、深い味わいを兼ね備えた豚肉を一枚一枚、独自の調理法で丁寧に揚げることで、つやがあり、外はカラッと、中はふんわりとした衣の食感に仕上げている。

【資料】 乳用牛への黒毛和種の交配状況 (速報)

令和7年12月18日
(一社) 日本家畜人工授精師協会

延べ人工授精頭数に占める黒毛和種精液授精頭数の割合

(単位:頭、%、県)

人工授精時期	項目	北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中四国	九州	(参考)		
										都府県平均	全国平均	既調査県数
令和2年 1~12月	延べ人工授精頭数	1,023,462	40,623	76,107	16,359	6,192	19,090	20,908	29,751			
	うち黒毛和種授精	262,674	15,558	40,413	9,446	3,321	11,520	14,137	18,981			
	(黒毛和種の割合:%)	(25.7)	(38.3)	(53.1)	(57.7)	(53.6)	(60.3)	(67.6)	(63.8)	(51.4)	(37.3)	46
令和3年 1~12月	延べ人工授精頭数	1,011,877	37,891	73,267	15,879	5,754	17,860	20,734	27,549			
	うち黒毛和種授精	251,333	13,937	38,290	9,239	2,872	11,201	14,703	18,050			
	(黒毛和種の割合:%)	(24.8)	(36.8)	(52.3)	(58.2)	(49.9)	(62.7)	(70.9)	(65.5)	(52.2)	(37.0)	46
令和4年 1~12月	延べ人工授精頭数	934,137	32,672	65,774	14,427	4,584	16,772	16,820	23,097			
	うち黒毛和種授精	276,605	13,702	37,468	8,357	2,515	11,299	11,832	15,792			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.6)	(41.9)	(57.0)	(57.9)	(54.9)	(67.4)	(70.3)	(68.4)	(55.6)	(41.1)	46
令和5年 1~12月	延べ人工授精頭数	919,482	30,653	58,863	18,850	3,759	15,040	15,748	19,928			
	うち黒毛和種授精	267,280	13,031	33,496	12,937	2,295	10,344	11,683	13,813			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.1)	(42.5)	(56.9)	(68.6)	(61.1)	(68.8)	(74.2)	(69.3)	(58.1)	(41.8)	46
令和6年 1~12月	延べ人工授精頭数	849,622	29,361	57,438	17,921	3,487	14,059	14,251	18,015			
	うち黒毛和種授精	231,670	11,666	30,039	12,067	2,054	9,599	10,463	11,691			
	(黒毛和種の割合:%)	(27.3)	(39.7)	(52.3)	(67.3)	(58.9)	(68.3)	(73.4)	(64.9)	(52.9)	(38.4)	44
令和2年 7~9月	延べ人工授精頭数	254,346	8,998	15,844	2,825	1,432	4,030	4,179	5,529			
	うち黒毛和種授精	65,263	3,506	8,622	1,750	810	2,681	2,760	3,675			
	(黒毛和種の割合:%)	(25.7)	(39.0)	(54.4)	(61.9)	(56.6)	(66.5)	(66.0)	(66.5)	(53.2)	(38.0)	46
令和2年 10~12月	延べ人工授精頭数	269,910	10,573	20,400	4,635	1,476	5,300	5,810	8,843			
	うち黒毛和種授精	63,204	3,701	10,234	2,555	786	3,091	4,021	5,614			
	(黒毛和種の割合:%)	(23.4)	(35.0)	(50.2)	(55.1)	(53.3)	(58.3)	(69.2)	(63.5)	(49.7)	(35.2)	46
令和3年 1~3月	延べ人工授精頭数	245,005	10,097	20,161	4,511	1,556	4,654	5,578	7,609			
	うち黒毛和種授精	58,997	3,594	10,136	2,625	770	2,760	3,864	4,883			
	(黒毛和種の割合:%)	(24.1)	(35.6)	(50.3)	(58.2)	(49.5)	(59.3)	(69.3)	(64.2)	(50.6)	(35.9)	46
令和3年 4~6月	延べ人工授精頭数	250,078	9,223	18,578	3,753	1,607	4,440	5,143	7,032			
	うち黒毛和種授精	59,498	3,169	9,336	2,265	756	2,663	3,632	4,515			
	(黒毛和種の割合:%)	(23.8)	(34.4)	(50.3)	(60.4)	(47.0)	(60.0)	(70.6)	(64.2)	(50.7)	(35.8)	46
令和3年 7~9月	延べ人工授精頭数	256,473	8,768	15,924	3,174	1,314	4,057	4,689	5,415			
	うち黒毛和種授精	64,336	3,400	8,692	1,921	724	2,750	3,410	3,774			
	(黒毛和種の割合:%)	(25.1)	(38.8)	(54.6)	(60.5)	(55.1)	(67.8)	(72.7)	(69.7)	(54.8)	(38.3)	46
令和3年 10~12月	延べ人工授精頭数	260,321	9,803	18,604	4,441	1,277	4,709	5,324	7,493			
	うち黒毛和種授精	68,502	3,774	10,126	2,428	622	3,028	3,797	4,878			
	(黒毛和種の割合:%)	(26.3)	(38.5)	(54.4)	(54.7)	(48.7)	(64.3)	(71.3)	(65.1)	(53.1)	(38.2)	46
令和4年 1~3月	延べ人工授精頭数	228,460	8,755	18,295	4,282	1,240	4,497	4,348	6,747			
	うち黒毛和種授精	65,810	3,531	10,023	2,454	633	2,877	2,808	4,404			
	(黒毛和種の割合:%)	(28.8)	(40.3)	(54.8)	(57.3)	(51.0)	(64.0)	(64.6)	(65.3)	(53.0)	(39.5)	46
令和4年 4~6月	延べ人工授精頭数	233,056	7,985	16,238	3,716	1,224	4,190	4,490	5,629			
	うち黒毛和種授精	67,645	3,316	9,025	2,144	588	2,690	3,331	3,704			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.0)	(41.5)	(55.6)	(57.7)	(48.0)	(64.2)	(74.2)	(65.8)	(54.0)	(40.1)	46
令和4年 7~9月	延べ人工授精頭数	230,557	7,489	14,173	2,597	984	3,751	3,626	4,305			
	うち黒毛和種授精	70,220	3,222	8,487	1,508	559	2,676	2,704	3,157			
	(黒毛和種の割合:%)	(30.5)	(43.0)	(59.9)	(58.1)	(56.8)	(71.3)	(74.6)	(73.3)	(59.1)	(43.1)	46
令和4年 10~12月	延べ人工授精頭数	242,064	8,443	17,068	3,832	1,136	4,334	4,356	6,416			
	うち黒毛和種授精	72,930	3,633	9,933	2,251	735	3,056	2,989	4,527			
	(黒毛和種の割合:%)	(30.1)	(43.0)	(58.2)	(58.7)	(64.7)	(70.5)	(68.6)	(70.6)	(57.1)	(42.1)	46
令和5年 1~3月	延べ人工授精頭数	221,400	7,476	15,366	5,302	1,030	4,080	3,672	5,484			
	うち黒毛和種授精	67,708	3,291	9,034	3,605	613	2,789	2,572	3,808			
	(黒毛和種の割合:%)	(30.6)	(44.0)	(58.8)	(68.0)	(59.5)	(68.4)	(70.0)	(69.4)	(58.8)	(43.0)	46
令和5年 4~6月	延べ人工授精頭数	222,995	7,597	14,250	4,673	976	3,684	4,032	4,876			
	うち黒毛和種授精	64,626	3,284	7,881	3,105	601	2,397	2,971	3,392			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.0)	(43.2)	(55.3)	(66.4)	(61.6)	(65.1)	(73.7)	(69.6)	(56.8)	(41.2)	45
令和5年 7~9月	延べ人工授精頭数	223,335	6,454	12,252	3,566	855	3,284	3,146	3,701			
	うち黒毛和種授精	65,544	2,836	7,252	2,584	557	2,476	2,466	2,672			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.3)	(43.9)	(59.2)	(72.5)	(65.1)	(75.4)	(78.4)	(72.2)	(60.8)	(43.1)	45
令和5年 10~12月	延べ人工授精頭数	251,752	9,126	16,995	5,309	898	3,992	4,898	5,867			
	うち黒毛和種授精	69,402	3,620	9,329	3,643	524	2,682	3,674	3,941			
	(黒毛和種の割合:%)	(27.6)	(39.7)	(54.9)	(68.6)	(58.4)	(67.2)	(75.0)	(67.2)	(55.6)	(39.9)	45
令和6年 1~3月	延べ人工授精頭数	218,244	7,932	16,035	5,386	959	3,651	4,028	5,259			
	うち黒毛和種授精	58,199	3,194	8,523	3,463	516	2,411	3,087	3,458			
	(黒毛和種の割合:%)	(26.7)	(40.3)	(53.2)	(64.3)	(53.8)	(66.0)	(76.6)	(65.8)	(53.8)	(38.4)	44
令和6年 4~6月	延べ人工授精頭数	213,228	7,294	14,201	4,498	808	3,391	3,086	4,370			
	うち黒毛和種授精	54,837	2,867	7,102	2,920	469	2,194	2,308	2,922			
	(黒毛和種の割合:%)	(25.7)	(39.3)	(50.0)	(64.9)	(58.0)	(64.7)	(74.8)	(66.9)	(50.6)	(36.5)	44
令和6年 7~9月	延べ人工授精頭数	198,947	6,243	11,391	2,820	779	3,026	2,949	3,099			
	うち黒毛和種授精	56,285	2,549	6,230	2,021	516	2,299	2,116	2,090			
	(黒毛和種の割合:%)	(28.3)	(40.8)	(54.7)	(71.7)	(66.2)	(76.0)	(71.8)	(67.4)	(54.9)	(39.8)	44
令和6年 10~12月	延べ人工授精頭数	219,203	7,892	15,811	5,217	941	3,991	4,188	5,287			
	うち黒毛和種授精	62,349	3,056	8,184	3,663	553	2,695	2,952	3,221			
	(黒毛和種の割合:%)	(28.4)	(38.7)	(51.8)	(70.2)	(58.8)	(67.5)	(70.5)	(60.9)	(51.6)	(38.5)	44
令和7年 1~3月	延べ人工授精頭数	207,233	6,847	15,087	4,879	845	3,667	3,723	4,469			
	うち黒毛和種授精	65,849	2,959	8,406	3,286	438	2,598	2,897	2,988			
	(黒毛和種の割合:%)	(31.8)	(43.2)	(55.7)	(67.3)	(51.8)	(70.8)	(77.8)	(66.9)	(55.6)	(42.0)	44
令和7年 4~6月	延べ人工授精頭数	200,954	6,429	13,407	4,171	806	3,211	3,544	3,805			
	うち黒毛和種授精	67,061	2,876	7,205	2,756	439	2,210	2,687	2,666			
	(黒毛和種の割合:%)	(33.4)	(44.7)	(53.7)	(66.1)	(54.5)	(68.8)	(75.8)	(70.1)	(55.5)	(42.8)	44
令和7年 7~9月 (中間集計)	延べ人工授精頭数	193,929	5,842	10,580	2,553	595	2,204	3,592	2,398			
	うち黒毛和種授精	69,079	2,797	6,400	1,810	382	1,597	2,814	1,759			
	(黒毛和種の割合:%)	(35.6)	(47.9)	(60.5)	(70.9)	(64.2)	(72.5)	(78.3)	(73.4)	(61.1)	(46.5)	44

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年12月7日~12月13日)

(単位:キログラム当たり円、税込み、重量kg)

和牛チルド「4等級」		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		
		首都圏	カタロース	4,158	4,600	4,722		4,508	12,683	近畿圏	3,543	3,936	4,644	4,034
	カタ	3,900	4,067	4,142	4,051	16,916		3,714	3,903	4,104	3,893	7,479		
	カタバラ	2,268	2,376	3,514	2,743	4,015		2,348	2,900	2,900	2,671	1,133		
	マエセット	-	-	-	-	187		-	-	-	-	-		
	ヒレ	8,307	9,536	10,800	9,645	2,154		9,180	10,196	10,730	10,006	2,340		
	ロイン	6,264	6,804	9,084	7,239	3,423		5,508	5,942	6,480	5,958	5,259		
	ロインセット	6,152	6,455	6,612	6,415	2,445		-	-	-	-	508		
	トモバラ	1,836	2,264	2,592	2,179	14,439		1,836	1,977	3,348	2,403	10,027		
	ウチモモ	4,104	4,400	4,644	4,382	4,110		3,819	4,320	4,320	4,135	1,916		
	シントアマ	3,889	3,942	4,400	4,064	3,328		3,558	4,320	4,320	4,130	1,744		
	ランイチ	3,991	4,315	4,494	4,235	4,244		4,225	4,320	4,320	4,295	1,947		
	ソトモモ	3,456	3,672	3,924	3,730	3,475		3,644	3,705	3,780	3,724	1,340		
	スネ	1,944	2,164	2,322	2,157	5,969		2,030	2,151	2,162	2,131	3,008		
	モモセット	4,061	4,217	4,217	4,155	18,257		3,564	3,566	3,842	3,644	24,205		
	セット	4,019	4,294	4,472	4,278	42,503		3,780	3,947	4,266	3,946	15,937		
	重量合計						138,148							85,133
中京圏	カタロース	3,456	3,996	4,274	3,945	2,693	九州圏	3,996	4,320	5,099	4,345	2,123		
	カタ	3,456	3,737	3,996	3,757	2,849		3,564	3,564	4,104	3,693	1,896		
	カタバラ	2,214	2,881	3,456	2,901	2,294		1,944	2,231	2,419	2,146	1,159		
	ヒレ	-	-	-	-	736		-	-	-	-	330		
	ロイン	4,018	5,292	6,372	5,441	2,568		-	-	-	-	802		
	トモバラ	1,674	1,944	2,754	1,955	3,169		1,782	1,836	2,268	1,899	1,865		
	ウチモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	285		
	シントアマ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	475		
	ランイチ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	274		
	ソトモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	734		
	スネ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	454		
	モモセット	3,942	4,212	4,806	4,329	3,376		-	-	-	-	-		
セット	3,666	3,666	3,988	3,715	7,573	3,775	3,964	4,428	4,068	11,738				
重量合計						25,258							22,135	

(令和7年12月7日~12月13日)

交雑牛チルド「3等級」		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		
		首都圏	カタロース	3,096	3,221	3,348		3,213	14,635	近畿圏	2,916	3,132	3,492	3,176
	カタ	2,457	2,686	2,829	2,671	10,834		2,562	2,873	2,916	2,770	14,117		
	カタバラ	2,149	2,505	2,660	2,459	4,133		1,568	1,624	1,696	1,634	2,991		
	ヒレ	6,264	6,480	6,722	6,488	4,647		6,588	7,003	7,224	6,947	3,992		
	ロイン	4,320	4,738	5,022	4,722	5,157		4,389	4,860	5,054	4,803	5,136		
	トモバラ	1,566	2,443	2,916	2,291	10,398		1,512	1,566	1,728	1,581	14,165		
	ウチモモ	2,534	2,624	2,769	2,637	5,755		2,484	2,592	2,700	2,589	6,519		
	シントアマ	2,588	2,700	2,899	2,688	3,938		2,376	2,592	2,754	2,571	6,773		
	ランイチ	2,484	2,700	2,952	2,714	3,229		2,376	2,581	2,700	2,573	7,237		
	ソトモモ	2,264	2,376	2,430	2,363	4,254		2,376	2,484	2,592	2,484	7,054		
	スネ	1,618	1,660	1,732	1,674	3,841		1,631	1,821	1,944	1,810	6,734		
	モモセット	-	-	-	-	-		2,538	2,721	2,873	2,691	9,089		
	セット	2,802	3,038	3,363	3,067	26,797		1,998	3,078	3,364	3,040	38,206		
	重量合計						97,618							134,796

乳牛チルド「3等級」		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		
		首都圏	カタロース	2,808	2,982	3,480		3,083	3,517	近畿圏	2,716	2,981	3,348	2,987
	カタ	-	-	-	-	631		1,998	2,052	2,200	2,050	4,306		
	カタバラ	-	-	-	-	127		-	-	-	-	-		
	三角バラ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	847		
	ブリスケット	-	-	-	-	-		1,350	1,372	1,512	1,394	2,941		
	ヒレ	5,330	5,400	5,752	5,511	1,742		4,860	5,641	6,031	5,566	2,441		
	ロイン	3,394	3,394	3,780	3,478	1,163		3,348	3,780	4,158	3,688	3,285		
	トモバラ	1,512	2,907	3,132	2,832	3,102		1,328	1,545	1,996	1,550	5,708		
	ウチモモ	2,106	2,466	2,490	2,371	3,390		2,068	2,138	2,214	2,136	6,302		
	シントアマ	2,080	2,222	2,268	2,191	2,499		1,744	2,052	2,106	2,028	1,549		
	ランイチ	2,052	2,268	2,273	2,197	2,008		2,052	2,106	2,160	2,107	2,621		
	ソトモモ	1,149	1,944	2,106	1,806	1,623		2,052	2,376	2,970	2,566	2,576		
	スネ	1,620	1,674	1,742	1,678	1,895		1,620	1,728	1,899	1,750	4,424		
	セット	2,533	2,533	2,538	2,535	14,900		1,851	1,868	2,043	1,927	30,963		
	重量合計						36,597							72,543

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月18日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,811	2,759	2,581	-	-
		安値	2,538	2,551	2,360	-	-
		平均	2,831	2,624	2,533	-	-
	123頭	頭数	93	23	7	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,437	2,692	2,548	-	-
		安値	2,485	2,540	2,268	-	-
		平均	2,745	2,625	2,432	-	-
	148頭	頭数	117	28	3	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,819	1,767	1,590	-
		21頭	頭数	-	5	12	4
	雌 C	平均	-	1,698	1,647	1,607	-
		6頭	頭数	-	1	3	2
	去 B	平均	2,025	1,904	1,805	1,677	-
		21頭	頭数	2	4	11	4
去 C	平均	-	-	1,706	-	-	
2頭	頭数	-	-	2	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	430	1,049	-	(競り)	(相対)	
売買	429	1,041	326.5	-	9	74

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,765	2,511	1,977	1,848	-
	B	-	-	-	1,415	-
和 去	A	2,723	2,590	2,500	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,058	-
	C	-	-	-	1,058	1,013
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	2,147	1,899	1,741	1,517	-
	C	-	-	1,634	1,555	-
交 去	B	1,967	1,853	1,746	1,615	-
	C	-	1,743	1,657	1,628	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	680	837	757	773	659
	安値	649	594	540	410	224
	平均	665	640	601	571	463
	頭数	(4)	(406)	(416)	(145)	(70)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入相対	高値	-	-	-	-	538
	安値	-	-	-	-	538
	平均	-	-	-	538	538
	頭数	(-)	(-)	(-)	(1)	(8)

[大阪食肉卸売市場] 12月18日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,768	2,525	2,328	-	-
(頭数)	(31)	(3)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,750	2,533	-	-	-
(頭数)	(21)	(17)	(-)	(-)	(-)
B	2,592	-	-	-	-
(頭数)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	2,376	2,056	1,756	1,654	-
C	2,060	-	-	1,430	-
交雑去 B	-	1,935	1,739	1,673	-
C	-	1,862	1,706	1,677	-
豚	-	652	657	630	483

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	12月18日	12月17日	(12月累計)
豚	70,800	73,100	985,800
成牛計	4,880	5,480	75,930
和牛雌	1,130	1,480	19,320
和牛去勢	1,140	1,520	22,420
乳牛雌	1,100	710	9,990
乳牛去勢	520	430	6,290
交雑雌	410	700	7,920
交雑去	580	640	9,930

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 12月18日

	1,707円	(前日 1,761円)
東京		
	1,691円	(前日 1,682円)
大阪		

[豚・全農建値] 12月18日

上	中	取引頭数	市況
647円	622円	1,359頭	急落

と畜	牛 103頭	豚 123頭	牛概況	もちあい
売買	牛 133頭	豚 156頭	豚概況	強もちあい

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 12月18日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	6,418	-	もちあい
仙台 [中]	588 (604)	555 (495)	562	34	反落
栃木 [地]	677 (692)	596 (650)	1,867	47	反落
茨城 [地]	642 (642)	623 (619)	1,470	971	もちあい
群馬 [地]	643 (664)	511 (586)	2,594	336	続落
さいたま [中]	636 (636)	627 (627)	263	264	もちあい
東京 [中]	640 (688)	601 (665)	1,049	1,041	急反落
横浜 [中]	666 (675)	639 (652)	688	686	反落
山梨 [地]	661 (678)	641 (593)	197	162	まちまち
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	694 (690)	678 (671)	992	237	続伸
京都 [中]	620 (-)	591 (-)	140	124	もちあい
大阪 [中]	652 (637)	657 (619)	123	105	強もちあい
神戸 [中]	650 (-)	654 (-)	108	165	-
岡山 [地]	615 (604)	605 (599)	331	393	強気配
広島 [中]	645 (629)	- (596)	432	38	続伸
福岡 [中]	659 (647)	639 (622)	564	191	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 12月11日～12月17日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,758,145 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,220	1,294	1,229	102,452
うで	666	756	835	750	166,469
ロース	1,061	1,157	1,196	1,150	134,935
ばら	1,233	1,293	1,404	1,296	171,743
もも	747	769	832	781	189,462
ヒレ	1,048	1,179	1,188	1,157	25,157
セット	918	1,020	1,067	1,001	967,927

◇近畿圏 総重量 838,000 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,264	1,350	1,406	1,335	67,636
うで	680	733	810	747	131,178
ロース	1,080	1,221	1,254	1,199	123,863
ばら	1,274	1,350	1,458	1,363	145,743
もも	712	729	813	734	188,218
ヒレ	1,098	1,206	1,242	1,194	14,402
セット	886	999	1,133	1,005	166,960

[食鳥正肉日経相場] 12月17日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社) ※休載

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	698	755	1,030	5
ムネ	487	530	622	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 12月16日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,029	759	550	600	650
安値	700	445	290	360	350
平均	781	546	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

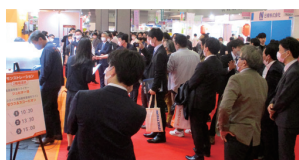
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーショナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します